

製品名: OGFR ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab15121

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	OGFR
別名	OGFR; Opioid growth factor receptor; OGFr; Protein 7-60; Zeta-type opioid receptor
遺伝子 ID	11054.0
SwissProt ID	Q9N2T2
免疫原	抗血清はヒト OGFR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 138-187

背景

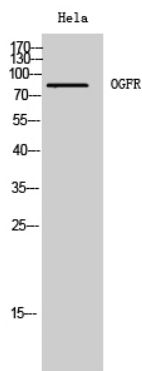
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、オピオイド成長因子（OGF）の受容体であり、[Met(5)]-エンケファリンとしても知られる。OGFは、様々なプロセスにおいて細胞増殖および組織形成の負の調節因子である。コードされている OGF の非結合受容体は

核外膜に局在し、そこで OGF と結合して核内へ移行する。この遺伝子のコード配列には、60 塩基の不完全反復単位からなる多型領域が含まれる。0~8 個の反復単位を含む転写産物がいくつか報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: オピオイド成長因子 (OGF) の受容体であり、Met-エンケファリンとしても知られる。成長調節に関与していると考えられる。、オンライン情報:OGFr エントリ,PTM:DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR によるものと思われる。、類似性:オピオイド成長因子受容体ファミリーに属する。、細胞内局在:OGF/OGFR 複合体は核に移行すると考えられる。、組織特異性:心臓と肝臓で高発現、骨格筋と腎臓で中等度発現、脳と脾臓で低発現。肝臓と腎臓を含む胎児組織でも発現する。、

研究分野

-

画像データ



OGFR ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析